

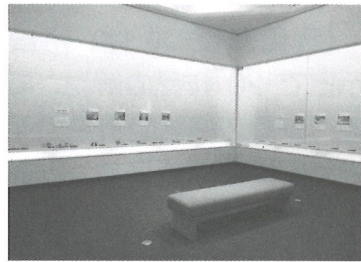
## 令和2年度 実習教室作品展

浦添市美術館では、一般の方々を対象に美術工芸に関する実習教室を開講しています。本展はその教室での成果を発表する場です。

今回は箔絵、紅型、きゅう漆、螺鈿の4教室で制作した受講生の作品を紹介します。ぜひ個性豊かな作品をお楽しみください。そして、本作品展を通してモノをつくる楽しさやワクワクする気持ちを思い出していただければと思っております。

【会期】令和3年5月15日(土)～5月23日(日)

【会場】企画展示室1 【観覧料】無料



## 令和2年度 新収蔵品展・琉球八景展

本展では足付盆、天目台など購入作品12件と、東南アジアの盆や椀など30件の寄贈品を展示します。また、限定公開の〈琉球八景〉も併せて展示します。ぜひ足をお運びください。

【会期】令和3年4月24日(土)～5月9日(日)

【会場】企画展示室1・2

【観覧料】常設展と共通料金(一般200円)



しゅうろくしえびすもんはくえたいがたじきろう  
朱漆恵比寿文箔絵鯛形食籠

## 戦がやってきた原画展

儀間比呂志(版画)・中山良彦(文) 沖縄戦版画集『戦がやってきた』原画展を開催します。

当原画は、沖縄を代表する芸術家の一人である、儀間比呂志(1923～2017)作です。沖縄戦体験者の証言を元に版画の持つ独特の迫力とサイズ感、テーマ性で沖縄タイムス芸術選賞絵画部門大賞を受賞しました。沖縄で何が起きてしまったのか。生で見る原画作品を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える機会となれば幸いです。

【会期】令和3年6月10日(木)～6月27日(日)

【会場】企画展示室3 【観覧料】無料



## ご案内

### ◆実習教室

#### ◇金継ぎ(漆つくろい)教室(全6回)

【内容】漆を用いて割れた陶器などを補修する金継ぎ(漆つくろい)を学ぶ

【募集期間】9月頃 【定員】10名予定

#### ◇きゅう漆教室(全8回)

【内容】刷毛や箆で漆を塗るきゅう漆技法を学ぶ

【募集期間】11月頃 【定員】10名予定

#### ◇螺鈿教室(全6回)

【内容】漆で貝片を貼り加飾する螺鈿技法を学ぶ

【募集期間】1月頃 【定員】10名予定

### ◆子ども体験教室(3教室)

【開催期間】7～8月 【定員】各10名予定

### ◆うるしの日 体験教室(1教室)

【開催期間】11月 【定員】10名予定

### ◆共催企画展スケジュール

※会場は全て企画展示室1～3、講堂

#### ◇画業25周年・芸能生活45周年記念 片岡鶴太郎展「顔-faces-」

琉球新報社・片岡鶴太郎展 顔-faces- 実行委員会

【会期】3月13日(土)～4月18日(日)

#### ◇浦添八景展(講堂のみ)

浦添市美術館友の会

【会期】4月23日(金)～5月11日(火)

#### ◇OCC創立55周年企画

時代が求めたコンピュータたち！沖縄未来研究所

(株)OCC・(株)沖縄タイムス社

【会期】7月31日(土)～8月29日(日)

※すべての行事の日程は都合により変更になる場合があります。

編集・発行 **浦添市美術館**  
URASOE ART MUSEUM

〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1丁目9番2号  
TEL: 098-879-3219 FAX: 098-878-1221  
http://museum.city.urasoe.lg.jp/



開館時間：9時30分～17時(金曜日のみ19時まで)

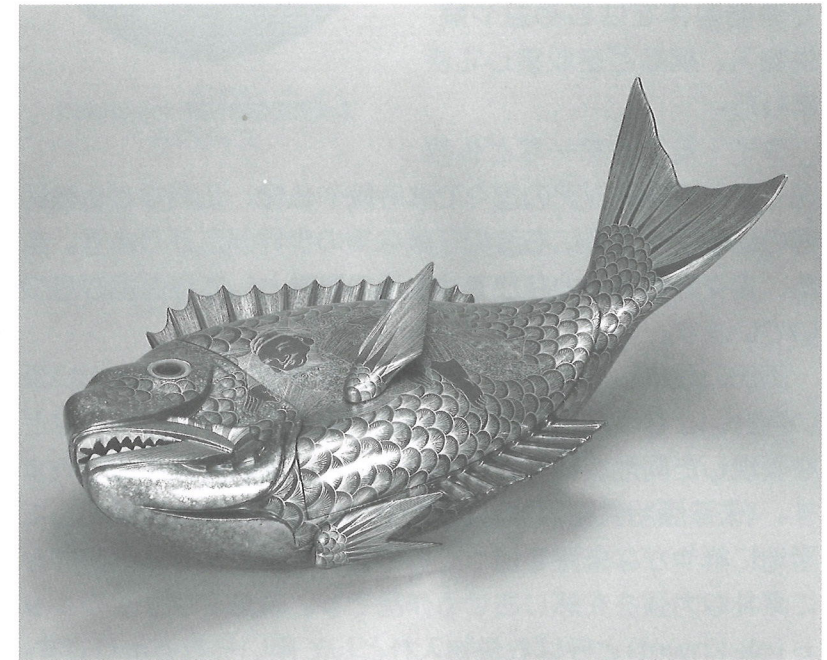
\*入館はいずれも閉館30分前まで

休館日：月曜日(祝日開館)、年末年始(12月28日～1月4日)、館内消毒(5月27日)、その他臨時休館有り

# きよらさ90

浦添市美術館ニュース 2021年3月1日(年2回発行)

きよらさ：「美しい」「きよらかさ」を表す琉球の古語



しゅうろくしえびすもんはくえたいがたじきろう  
「朱漆恵比寿文箔絵鯛形食籠」

### 作品解説

朱漆に箔絵技法を用いて食籠全体を埋め尽くすように鱗などが細密に描かれ、中央には七福神で商売繁昌の神様とされる恵比寿も表されています。那覇市辻にあった料亭左馬で実際に使用されていた食籠で、中央部分は蓋となっております。本作品は沖縄で作られたものですが、このようなかたちは日本の各地でも見られます。箔絵を得意とした嘉手納憑勇(1935～2005)氏が1960年頃制作したものです。薄く均一に施された金箔やのびやかな筆致からは熟練の技が感じられます。豪華で存在感のある鯛の食籠に盛られたお刺身はさぞおいしかったことでしょう。

## 浦添市美術館

URASOE ART MUSEUM

## 寄贈品紹介

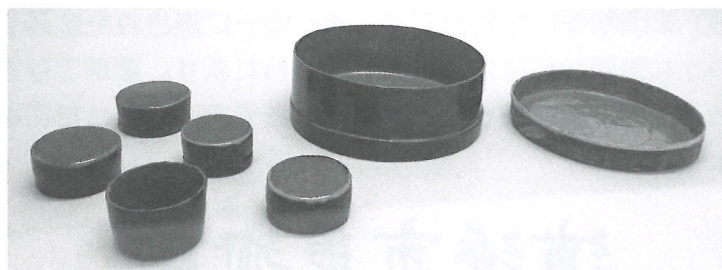
このたび、足立淳氏、澤田勝彦氏よりタイやミャンマーの漆器を計 26 件ご寄贈いただきました。両氏は約 30 年にわたってタイに通い、現地で漆器製作をはじめ盆や籠、供物入、椀などを収集してきました。

タイ・ミャンマーなど仏教国である東南アジアの国々では寺院や仏像、仏具など仏教関連の建築物や道具にも漆の荘厳な美の世界が広がります。また、人々の暮らしのなかでは生活の道具として漆芸品が息づいています。

両氏の収集した作品は、生活のなかで使いこまれ味わい深い色合いとなった道具類が中心で、線刻で細やかに花文などを表現した同地域特有の華やかな供物器などが多くみられます。〈朱漆籐胎供物容器〉(写真上)は籐編みにより成形した素地に鮮やかな朱漆を塗ったもので、シンプルな造形のなかに素朴な力強さを感じさせる作品です。現地ではオクウェット(ok-khwet)と呼ばれ供物入れとして用いられるようです。下段の器底裏には小さな九つの足を付しそれぞれの足先に焼物片を埋め込んでいるのが特徴的です。

また〈朱黒漆花文線刻籐胎キンマ容器〉(写真下)は黒漆塗りに線彫りを施しその溝に朱を入れ花文を全体に表現しています。線刻技法は、タイやミャンマーなどの東南アジアで盛んであり、本作品のようなキンマ(現地の噛み煙草)を入れる容器などがよく知られています。

そのほか魅力的な作品が多く、アジアの息吹を感じることができるコレクションです。貴重な作品をご寄贈くださいました足立氏及び澤田氏にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



しゅくろくしかりもんせんごくらんたい ようき  
朱黒漆花文線刻籐胎キンマ容器 タイ



しゅろくしとうたい くもつよう き  
朱漆籐胎供物容器 (ok-khwet)  
ミャンマー

## 浦添市市制施行 50 周年記念展・令和 2 年度第 3 期常設展 日本遺産認定記念ー琉球の器を楽しむ!!ー

令和元年 5 月に、「琉球王国時代から連続と続く沖縄の伝統的な『琉球料理』と『泡盛』、そして『芸能』」のストーリーが県内初の日本遺産に認定されました。当館所蔵の県・市指定有形文化財 44 件(漆器)及び〈琉球交易港図屏風〉もその構成文化財となりました。

本展では日本遺産認定を記念し、琉球・沖縄のおもてなしの器、酒器、携行具など、漆器を中心に 100 件を展示します。往時の宴の情景を思い浮かべつつ、さまざまな器のかたちや色、文様の美しさをご堪能ください。



しゅろくしさんすいじんぶつはく エトウタンダフン  
朱漆山水人物箔絵東道盆

### 第 1 室 琉球・沖縄の漆の歴史

琉球王国時代から近代沖縄にかけて製作された漆器を時代に沿って紹介します。

### 第 2 室 おもてなしの器ー食と茶ー

東道盆、膳や椀などの器やお茶に関する道具を紹介します。

### 第 3 室 おもてなしの器ー酒ー

漆や焼物の酒器を紹介します。趣向を凝らし華やかに飾られた酒器は、料理と共に宴席を盛り上げるアイテムとして欠かせないものでした。

### 第 4 室 楽しむ器

湯庫や堤重といった行楽用の漆器、おもしろい形の漆器を紹介します。

### 第 5 室 日本遺産

日本遺産に認定された構成文化財の一部をピックアップして紹介します。

【会 期】令和 3 年 1 月 26 日(火)～5 月 23 日(日)

【観覧料】一般 200 円(160 円)

大学生 130 円(100 円)、高校生以下無料

※( ) 20 名以上の団体料金

※65 歳以上、モノレール 1 日乗車券利用者・

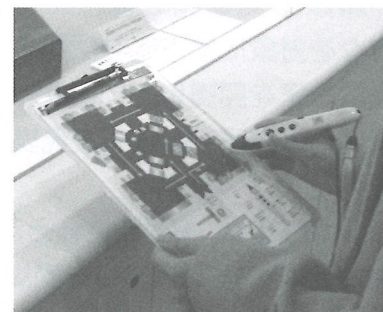
SNS 発信者は団体料金

【会 場】常設展示室

【ギャラリートーク】週 1 回開催、要当日観覧券。日時はその都度ホームページへ掲載します。

## 新しい音声ガイド「音えんぴつ」が仲間入りしました!

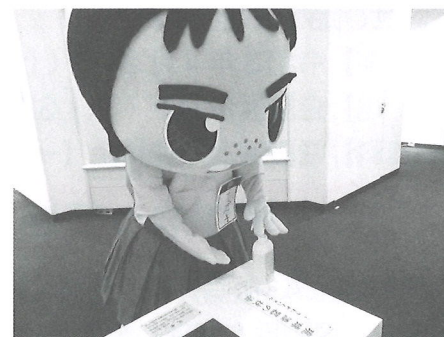
「音えんぴつ」は、常設展示室で 20 作品の解説が聞けるペン型の多言語音声ガイドです。操作は簡単で、配置図の音声番号をペン先でタッチすると解説が始まります。日・英・中国語に対応していて配置図の言語選択をタッチするだけで音声を切り替えることができます。各作品の解説文は鑑賞の妨げにならないように 80 文字程度にしていますが、音声ガイドでは倍以上となる 200 文字の情報を聞くことができます。



令和 2 年 11 月から試験的に貸し出しをはじめると「とても使いやすい」、「直感的でわかりやすい」、「作品が理解しやすい」など予想以上に多くのお客様から反響がありました。無料で貸し出しを行っていますので、ぜひ「音えんぴつ」をご活用ください。

## コロナウイルス感染拡大防止について

当館では、観覧者が安心安全に美術作品を鑑賞できるように、新型コロナウイルス感染拡大防止策(①～④)を実施しています。観覧者自身にもご入館の際にマスク着用のご協力をいただいています。



図書室や展望塔など一部利用を停止している場所もありますが利用再開時には、美術館ホームページや SNS 等でお知らせいたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ①受付に飛沫防止シート設置
- ②非接触体温計による検温
- ③館内各所に消毒液設置、ソーシャルディスタンス表示
- ④換気